

News Release



【高校生500人調査】男子は「素材」、女子は「リサイクル・リユース」重視。
学校制服で良いと思う環境配慮の取り組み、男女で視点の違い
～衣服の大量廃棄が問題となる中で見直される「制服」のサステナブルな価値～
調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.249 学校制服の満足度とエコ意識
<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol249>

菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町、代表取締役社長：尾崎 茂 以下：カンコー学生服）は毎月最終火曜日に結果を発信している調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.249にて、「学校制服の満足度とエコ意識」の調査データを公開しました。

全国の高校生500人を対象に調査を行ったところ、8割半ばが「学校制服を長く大切に着ることは環境にやさしい行動につながる」と回答しました。また、学校制服で良いと思う環境配慮の取り組みとして、全体では「不要になった制服の回収・再資源化／リサイクル」が最多となった一方、男子は「素材」、女子は「リサイクル・リユース」を重視するなど、男女間での視点の違いも明らかになりました。

現在、衣服の大量生産や大量廃棄が世界的な環境課題となる中、一着の衣服を長く着続けることの価値が見直されています。毎日の着用に耐えうる丈夫さを備えた学校制服は、一着を長く大切に着続けることだけでなく、お下がりとして譲るリユースや、資源として循環させるリサイクルなど、高校生が身近に実践できるサステナブルな衣服としてその価値が再評価されています。

◆調査結果サマリー◆

- 9割近くの高校生が現在の学校制服に満足しており、特に「とても満足している」と強い満足感を示す割合は女子が高い傾向
- 「学校制服を長く大切に着ることは、環境にやさしい行動につながる」と高校生の8割半ばが実感
- 学校制服で良いと思うエコの取り組みは、「不要になった制服の回収・再資源化／リサイクル」が最多
- 男子では「環境配慮素材」、女子では「制服のリサイクル」が最多で、男女で異なる傾向

◆まとめ・見解

近年、環境問題への関心の高まりとともに、持続可能な社会の実現に向けて、限りある資源を有効活用するライフスタイルが定着しつつあります。高校生にとって毎日着用している「学校制服」は、学校生活を共に過ごす大切なアイテムであり、高校生たちのエコ意識や行動にも自然に結びついているようです。

今回、全国の高校生の男女500人を対象に、学校制服の満足度を調べたところ、全体では「とても満足している」(40.4%)と「やや満足している」(46.6%)を合わせると、**男女ともに9割近い高校生が学校制服に満足していると回答**していました。また、「とても満足している」という割合は、女子高校生(42.1%)が男子高校生(37.1%)を上回っていることから、**女子高校生の方が学校制服に対する思い入れがより強い傾向**もみられました。

続いて、学校制服を長く大切に着ることは、環境にやさしい行動につながると思うか聞いたところ、全体では「とてもそう思う」(47.8%)と「ややそう思う」(37.0%)を合わせて**8割半ばが、学校制服を長く大切に着ることは、環境にやさしい行動につながると思うと回答**していました。「とてもそう思う」と強く実感している割合に注目すると、男子高校生(43.5%)に対し、女子高校生(50.0%)は半数にのぼり、**女子高校生の2人に1人が、学校制服を長く着ることが環境への配慮になると考えている**ことがわかりました。

さらに、**環境に配慮した学校制服の取り組みとして良いと思うものは、全体では1位は「不要になった制服の回収・再資源化／リサイクル」(36.0%)**、2位は「環境配慮素材(再生素材など)の制服の採用」(33.0%)と「制服の再利用／リユース」(33.0%)という結果でした。男女別にみると、男子高校生は「環境配慮素材(再生素材など)の制服の採用」(40.0%)が最も多かったのに対し、女子高校生は「不要になった制服の回収・再資源化／リサイクル」(37.6%)や「制服の再利用／リユース」(36.7%)が多くなり、エコに対する視点に違いがみられました。**学校制服を長く大切に着ることを環境にやさしい行動と捉える高校生が多く、回収・再資源化や再利用などの取り組みも支持されている**ようです。

学校制服は、長期間の学校生活に耐えられるように丈夫に作られているため、一人の生徒が着終わった後もまだ十分に着用できる状態のものも多くあります。そして、高校生が自身の制服に満足して、一着を長く大切に着続けること(リデュース)だけでなく、お下がりとして次の誰かに譲る(リユース)ことや、回収して新しい資源にする(リサイクル)ことなど、学校制服を通じた環境貢献・エコ活動が注目されています。

◆調査結果

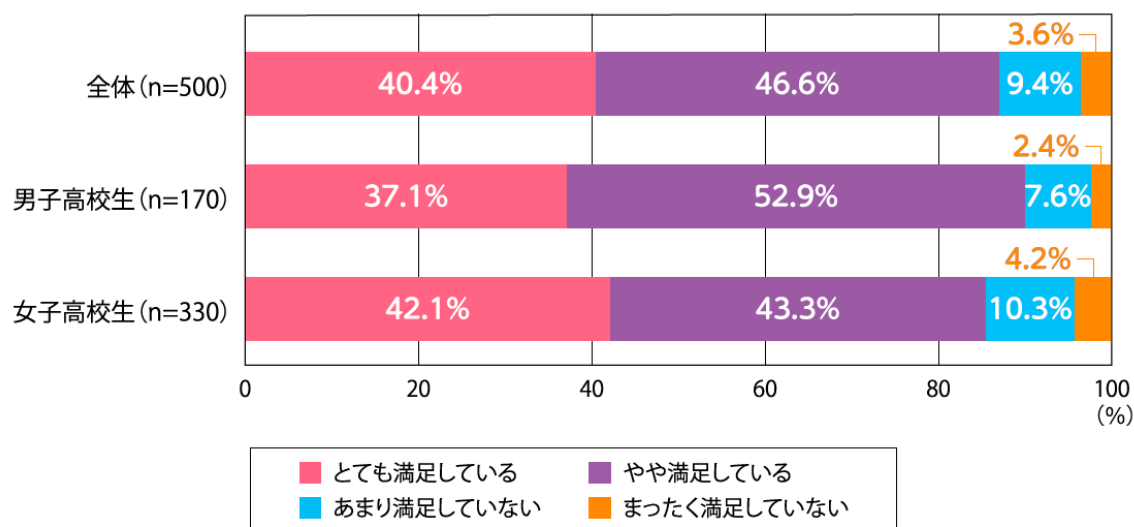
1.学校制服の満足度

●9割近くの高校生が現在の学校制服に満足しており、特に「とても満足している」と強い満足感を示す割合は女子が高い傾向

高校生に学校制服への満足度を聞いたところ、全体では「とても満足している(40.4%)」と「やや満足している(46.6%)」を合わせると、**高校生の87.0%が現在の学校制服に満足していると回答**していました。男女別にみると、「とても満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は、男子高校生が90.0%、女子高校生が85.4%となり、男子高校生の方がやや高い傾向がみられました。

一方で、「とても満足している」(男子高校生37.1%、女子高校生42.1%)という強い満足感を示す割合は、女子高校生の方が高くなりました。**全体の満足度は男子高校生の方が高いものの、より強い満足感を持つ割合では女子高校生が上回り**、満足の程度に男女で違いがみられました。

Q.あなたは、現在の学校制服に満足していますか。(単数回答)



※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

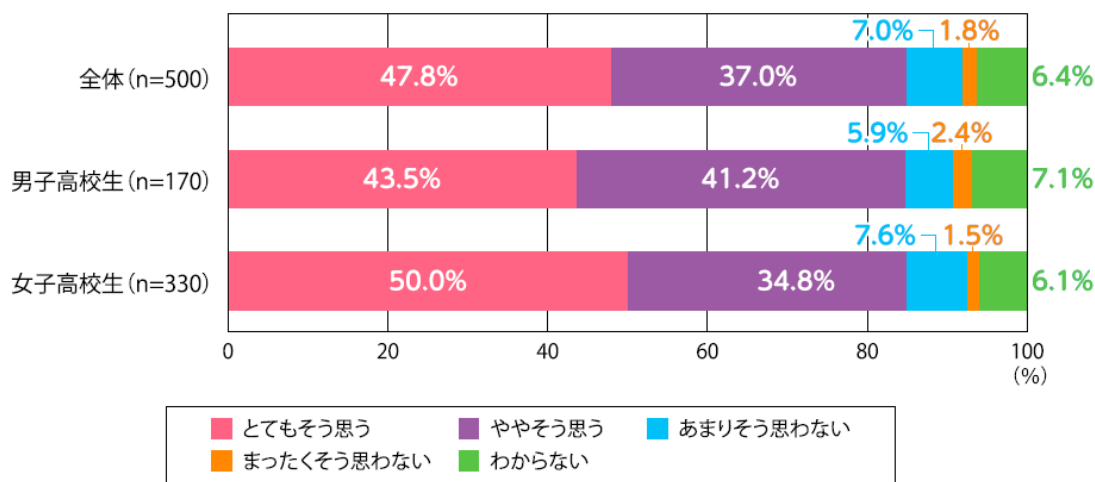
2.学校制服の着用による環境貢献

●「学校制服を長く大切に着ることは、環境にやさしい行動につながる」と高校生の8割半ばが実感

学校制服を長く大切に着ることは、環境にやさしい行動につながると思うか聞いたところ、全体では「とてもそう思う」(47.8%)と「ややそう思う」(37.0%)を合わせて 高校生の84.8%が、学校制服の着用は環境にやさしい行動につながると思うと回答していました。

男女別では、「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合算は、男子高校生が84.7%、女子高校生が84.8%となり、ほぼ同水準でしたが、「とてもそう思う」(男子高校生43.5%、女子高校生50.0%)という回答は、女子高校生の方が高くなりました。学校制服を長く大切に着ることの環境への貢献を、より強く肯定する割合は、女子高校生の方が高い結果となりました。

Q.学校制服を長く大切に着ることは、環境にやさしい行動につながりますか。(単数回答)



※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

3. 学校制服で良いと思う環境配慮の取り組み

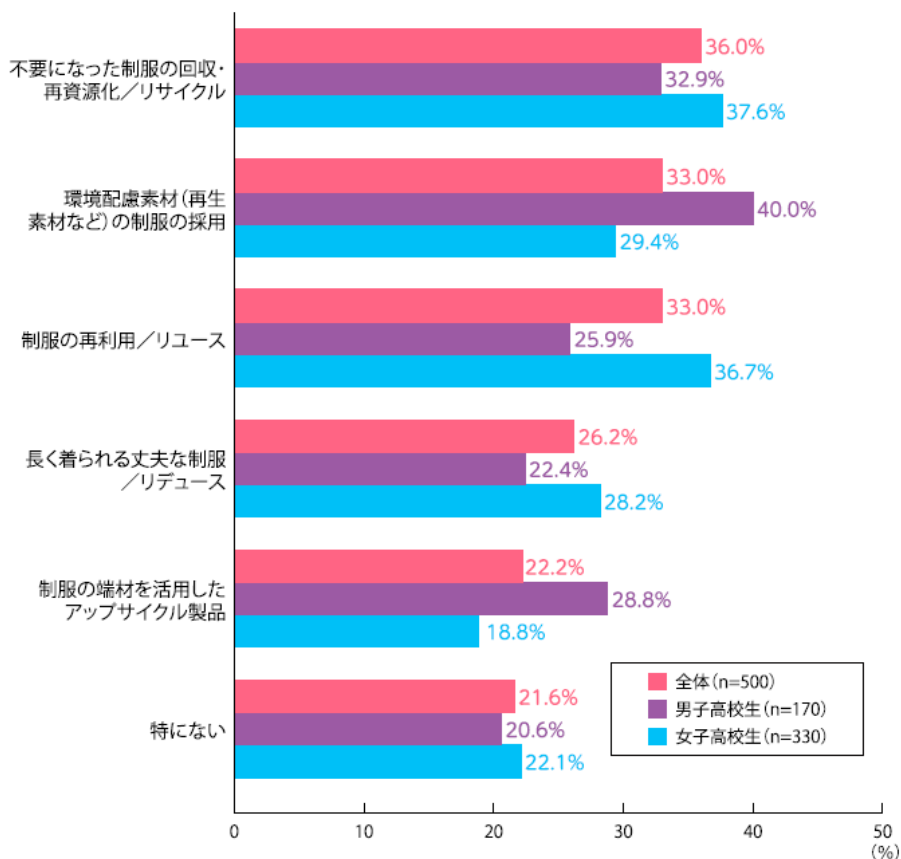
●学校制服で良いと思うエコの取り組みは、「不要になった制服の回収・再資源化／リサイクル」が最多

高校生が学校制服を通じた環境への取り組みとして良いと思うものは、全体では「不要になった制服の回収・再資源化／リサイクル」(36.0%)が最も多く、次いで「環境配慮素材(再生素材など)の制服の採用」(33.0%)と「制服の再利用／リユース」(33.0%)が続きました。

●男子では「環境配慮素材」、女子では「制服のリサイクル」が最多で、男女で異なる傾向

男女別にみると、男子高校生は「環境配慮素材(再生素材など)の制服の採用」(40.0%)が最も多くなり、制服の素材そのもののエコ化への関心が高い傾向があります。一方、女子高校生は「不要になった制服の回収・再資源化／リサイクル」(37.6%)や「制服の再利用／リユース」(36.7%)が上位を占めました。お下がりとして次の人へ譲ったり、新たな資源として循環させたりする取り組みに対し、女子高校生の関心が高いという結果でした。

Q.学校制服について、環境に配慮した取り組みとして良いと思うものを教えてください。(複数回答)



◆調査概要

- ・調査主体:菅公学生服株式会社
- ・調査対象:全国の高校生の男女 500人(男子170人、女子330人)
- ・サンプルサイズ:

男子高校生	女子高校生	計
170	330	500

- ・調査方法:インターネットリサーチ
 - ・実施時期:2026年7月
 - ・調査委託先(調査実施):エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社
- ※結果公開URL: <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol249>

【菅公学生服株式会社】

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服を通じて、子どもたちと学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、さまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーです。

【カンコーホームルーム】

菅公学生服株式会社が、生徒を取り巻く環境や生徒の意識・ライフスタイルについて多角的に調査・分析し、毎月最終火曜日に、結果を発信している調査レポート。

テーマは、「中高生が着たい制服・体操服」、「部活動で身につく力」、「学校教育とSDGs」など多岐にわたる。調査結果は、当社の事業エビデンスとしてだけでなく、広く一般に公開することで論文や教材、新聞・テレビ番組で引用転載されるなど、多方面でも活用されている。

発行日:毎月1回最終火曜日更新

公開方法:WEB <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom>

調査テーマの募集、ご意見・ご要望受付:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/demand>

引用・転載のお申込み:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/quotation>

以上